No.7 明科·東川手地区

- 歴史のまちなみと水の郷を訪ねて ――

犀川・穂高川・高瀬川の三川合流地点を望む岸辺の街、明科。歴史を秘める古刹・龍門寺から、古い商店街の中に伝統のある商店や路地を巡ります。造り酒屋、いくつかの神社を訪ね、篠ノ井線の廃線敷を少し歩き、犀川通船跡からあやめ公園に戻ります。明科には明科廃寺址や大逆事件のゆかりの資料などがあり、自然と歴史がいっぱいのコースです。

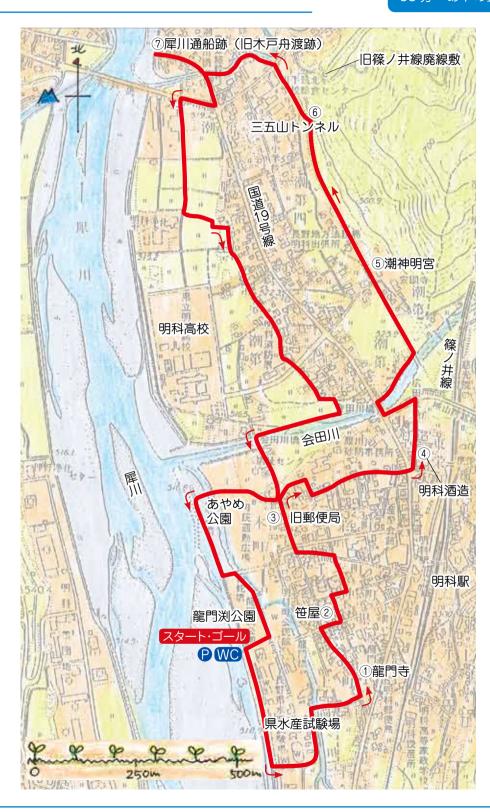


犀川



龍門寺の本堂







スタート 龍門渕公園→約 0.6km * 12 分→龍門寺→約 1.1km * 22 分→明科酒造→約 0.6km * 12 分→潮神明宮→約 0.3km * 6 分→三五山トンネル→約 0.6km * 12 分→犀川通船跡→約 1.9km * 38 分→あやめ公園→約 0.7km * 14 分→ ゴール 龍門渕公園 【合計】約 5.8km * 1 時間 56 分



街中の路地



明科酒造の土蔵



あやめ公園



辈川进船跡



廣田神社



篠ノ井線廃線敷

5

1 龍門寺

松声山龍門寺は曹洞宗の大町大沢寺末で、寺伝によれば永正元年(1504)開創されたと言われています。本尊の聖観音坐像は像高 94.5学の寄木造りで、鎌倉時代末から室町時代にかけての作とされます。門前にはこの地域の文化の足跡を示す句碑や歌碑、信仰碑が林立しています。

摩安曇野豆知識 p.28



②笹屋

明治35年(1902) 創業の老舗の菓子店。大正末から昭和初期の資料では、この角から東の通りと南北の通りに商店が軒を連ねて、当時のにぎわいを偲ぶことができます。 愛安曇野豆知識 p.30





③旧郵便局

土蔵づくりの旧郵 便局の建物。鬼瓦に 郵便のマークがあり、 当時の面影を残して います。



4明科酒造

明治時代創業の酒蔵。豊富で良質な湧き水に恵まれて、「廣田泉」という"知る人ぞ知る"銘酒を造っ

ていました。優秀な 杜氏がいて、品評会 では数多くの受賞 歴があります。敷地 内には立派な土蔵 があり、当時の面影 を残しています。



⑤潮神明宮

平安時代から鎌倉時代に川手地方が伊勢神宮の御厨(荘園)になったころに創建されたと言われています。本殿は明和8年(1771年)に建てられ、ほぼ20年おきに屋根の修理や葺き替えが行なわれています。



JR篠/井線の明科―西城間の旧ルートは、昭和63年(1988)に新ルートが開通して86年間の役目を終えました。三五山トンネルは明科側廃線敷コースの入口で、ここにはトンネルで使うレンガエ場もありました。トンネルを抜けたところには明治35年(1902)の篠/井線開通時に植林された約3万本ものケヤキの森があります。



7**犀川通船跡**

(旧木戸舟渡跡)

犀川を利用して松本から善光寺平まで物資を運ぶ犀川通船は、天保3年(1831年)に開通しました。旧木戸橋付近には松本から信州新町までの水運の発着所があり、当時はとてもにぎわっていました。





昭和6年(1931)頃の屋川下り(旧木戸橋下)

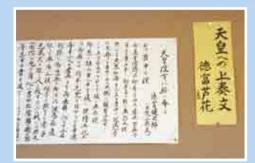
明治 43年(1910)、明科で製材所に勤める宮

下太吉が明治天皇暗殺を計画して、爆弾の製造・

実験を行なったとして逮捕されたことが発端と

なり、暗殺計画に関係のない幸徳秋水をはじめ

大逆事件



徳富蘆花の天皇への上奏文(レプリカ)





幸徳秋水の絶筆(レプリカ)

